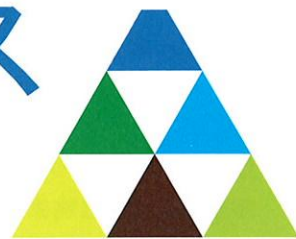


第80回電通富士登山記念

富士山発、世界の極地高所研究拠点から地球の未来を見張る

世界エコ・サイエンス ネットワーク会議



平成19年7月17日(火) 13:30~17:45 汐留・電通本社1階 電通ホール
(東京都港区東新橋1・8・1電通本社ビル1階)

◎主催：NPO法人「富士山測候所を活用する会」/ 株式会社 電通 ◎協力：早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター/NPO法人富士山を世界遺産にする国民会議/ 株式会社 電通テック ◎プログラム：
●[13:00~] 開場・受付 ●[13:30~13:45] 挨拶 ●[13:45~14:45] 基調講演 ラッセル・シュネル博士
●[15:00~17:30] パネルディスカッション ●[17:30~17:45] 地球環境観測ネットワークの構築宣言

地球の未来は、山に聞け。

Mt. Fuji [3776m]

Jung Frau Joch [3578m]

Monte Rosa [3480m]

Mt. Mauna Loa [3397m]

Mt. Lulin [2895m]

Mt. Changbai [2691m]



富士山が地球にとっても、「特別な山」になろうとしています。

2007年夏から民間やNPOに、はじめて貸付される富士山測候所。

日本の気象を見守るという役割は気象衛星に譲り、次は、地球の未来を見守るための、様々な取組みをはじめます。

例えば、周りに高い山がない富士山は、約4000メートルの巨大な大気観測タワーに見立てることができます。

遠くインド、中国で発生した大気汚染物質が、偏西風に乗り黄砂とともに日本にやってくる越境大気汚染の観測。

CO₂と永久凍土の観測など。大気汚染と地球温暖化の研究がはじまろうとしています。その他にも、高所医学、天文学、宇宙線科学、植物生態学、地震火山学など、さまざまな活用が期待されています。現在、ヨーロッパ、アジア、北米、ハワイといった高所にある観測所をネットワーク化し、地球規模での環境問題の解決に役立てようという試みが行われています。

富士山は、そのネットワークの中心に位置しているため、

大変重要な拠点です。さらには、日本全国の測候所と

もネットワーク化し、グローバルな展開も目指

しています。世界の極地高所研究者が一堂に会する

このシンポジウムでは、ハワイ・マウナロアの

シュネル博士による基調講演。登山家、大気

化学や高所医学の専門家といった、さまざまな

分野の講師によるパネルディスカッション。

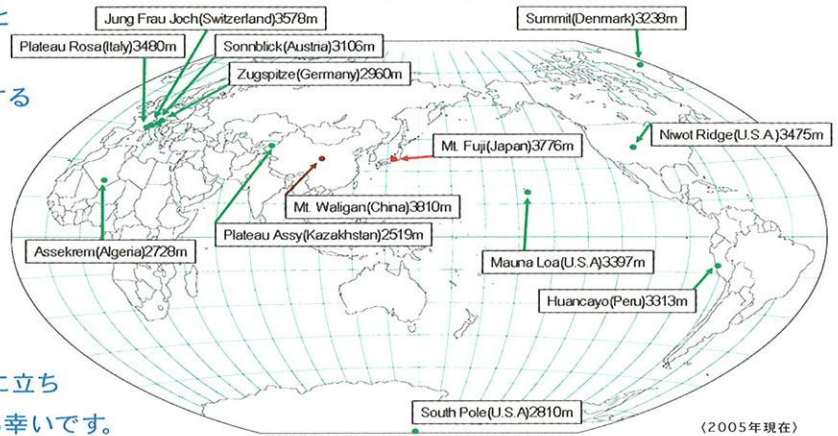
そして、地球環境観測ネットワークの構築宣言と

宣言書への調印を行います。地球の未来を考える

ために、富士山が地球環境の見張り番になる瞬間に立ち

会うために。多くの方にご参加いただけたら幸いです。

海拔2500m以上の大気化学観測拠点



山の視点から、地球を、人間を語ってくれる方々。



ラッセル・シュネル博士

Dr. Russell C. Schnell

米国海洋気象庁全球ネットワーク観測責任者
生物・化学・大気物理学を学び、生物水晶体、南極のエアロゾル、大気微量気体、ダストおよび汚染気体の長距離輸送などの研究を行っている。76の国と地域の調査経験がある。



パオロ・ラジ博士

Dr. Paolo Laj

仏国クレルモンフェラン地球物理観測所の上級研究者
ヨーロッパ高所大気エアロゾル研究(EUAARS)のプロジェクトマネージャーを歴任し、ヨーロッパ内外の多くの研究プロジェクトに参加実績多数。



金 潤信 博士

Dr. Yoon-Shin Kim

韓国 漢陽大学校・医科大学教授
室内および屋外の大気汚染、環境リスクアセスメントと伝染病、都市域の人類生態研究、環境産業医学などの分野で研究論文多数。



レナード・バリー博士

Dr. Leonard A. Barrie

世界気象機関の大気環境部門の責任者
大気科学が専門。極地の大気汚染研究に従事。その後、世界気象機関で活躍。大気環境に関する国際プロジェクトを多く組織。



林 能暉 博士

Dr. Neng Huei Lin

台湾国立中央大学教授
世界的な学術誌 Environmental Protection 編集長。
雲物理学、大気エアロゾル、アジアダストの輸送とバイオマス燃焼等に関する研究業績多数。



今井通子 博士

Dr. Michiko Imai

日本泌尿器科学会専門医 東京農業大学客員教授
1971年女性として初めて欧州三大北壁完登者となる。
1989年アフリカ最高峰キリマンジャロ登頂後、山頂よりパラグライダー飛行に成功。登山に関する著書多数。



ベンジャミン・レヴィン博士

Dr. Benjamin Levine

米国テキサス大学サウスウェストメディカルセンター教授
スタンフォード大学メディカルセンター、信州大学(松本)などでキャリアを積む。専門は心臓内科、高所医学。



畠山史郎 博士

Dr. Shiro Hatakeyama

東京農工大学教授 日本エアロゾル学会会長
大気汚染物質の航空機観測などの研究報告多数。
アジア大陸から輸送される大気汚染物質の観測、関東周辺の山岳地帯における森林衰退問題の解明に力を入れている。

●コーディネーター：渡辺豊博氏 NPO法人「富士山測候所を活用する会」理事・事務局長

世界エコ・サイエンスネットワーク会議 参加申込書

参加申込方法 本セミナーへの参加を御希望の方は、右記申込書に必要事項をご記入の上、**7月6日(金)**までに、**FAX**で「世界エコ・サイエンスネットワーク会議事務局」までお送り下さい。お申込頂いた方には、入場証をお送り致します。なお、定員を越えた場合は抽選とさせていただきます。

FAX: 03-5537-7761 (1枚1名様のみ入場可)

お問合せ先 TEL: 03-5537-1869 世界エコ・サイエンスネットワーク会議事務局

フリガナ	団体・学校名等
御氏名	
住所 〒	
電話	